

法學會研究會記事

昭和三十三年十二月十七日（水）、第一學舎第一會議室に於て法學會研究會の例會を開催。松本暉男専任講師より「明治初年の妻の地位」と題して報告が行われた。本研究はすでに法制史學會總會（昭和三十一年度）で発表された婚姻届出制度と戸籍との關連的研究に、その後手を加えて補正したものの一部として報告されたものである。尙資料の整理と統一をまつて近く論文として發表される豫定である。

(K)